ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　130　号
２０２１．８．31

目　次

2021年度 第58回総会報告（書面議決） ……1
就任のあいさつ ……7
2020・2021年度 研究大会の開催案内……7
2020・2021年度研究大会 インターネット(Web)開催「北海道に残る二万三千の竪穴(くぼみ)」…7
2020・2021年度研究大会資料集の販売について ……8
第7回北海道考古学会賞・北海道考古学会奨励賞の報告 ……8
事務連絡 …… 10
会誌「北海道考古学」第58輯の投稿について …… 10
会費納入についてのお願い …… 10

2021年度 第58回総会報告（書面議決）

皆様におかれましては、日頃から当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、本年度の総会は書面での議決とし、2021年６月24日までに書面表決書をご提出いただきました。その結果について、下記のとおりご報告いたします。

記

【総務】

会員数315名（2021年４月１日現在）に対して、書面表決書の変装で本総会に出席したと認められる会員数は131名でありました。よって、規定２－２総会規則第３条に基づき、本総会は成立しました。本総会の議長には、第１地区（石狩市）の工藤義衛会員が選出され、議事進行をお願いしました。

【議長】

第58回総会に関しては､会員による書面表決書の集計を次に示したとおり確認しました。その結果は、以下のとおりです。

〈各議案に対する賛否集計〉

１号議案	2020年度会務報告	賛成131、反対０、無効０
２号議案	2021年度会務計画	賛成130、反対１、無効０
３号議案	運営委員・地域委員・監査委員の改選について	賛成129、反対１、無効１
４号議案	北海道考古学会特別賞（顕彰）の授与について	賛成129、反対２、無効０

〈議決結果報告〉

第58回総会（書面議決）の議長として、１号から４号までの議案については書面表決書送付数に対する過半数以上の賛成をもって承認されたと判断しました。

議会議決報告

北海道考古学会の2021年度第58回総会（書面議決）の書面表決書を確認した結果、全ての議案が承認されたと報告いたします。

2021年７月１日
2021年度北海道考古学会第58回総会 議長　工藤義衛　㊞

〈特記事項〉

書面表決書において、以下の通り会員の皆様からご意見をいただきました。

(1) ２号議案に対する意見

・2020年度収支決算報告、2021年度予算案に記された金額の不揃いが指摘され、「今一度 2 号議案（2）は再提出を要求します」との意見がありました。

・予算決算書の「事業支出」項目中「会誌印刷費」「だより印刷費」「ホームページ費」の備考記載の「振込手数料」に関し、これは業者に代金を支払う際の銀行手数料のことかと思いますが、そうであれば、その分は「事務支出」項目中に移動させたほうが会員にも分かりやすくなると考えます。いかがでしょうか。
(2) 3号議案に対する意見
・3号議案は特別ではなく、規則を改正して行うべき。
(3) 4号議案に対する意見
・企業の営利に関わる案件、学会としての役割を充分議した上で決めるべき事で第4号は反対。
(4) その他の意見
・「だより」の充実を希みます

【第58回総会議決結果報告】
第58回総会（書面議決）の決議に基づき、議案に示したように進める所存です。
1、2号議案については、2020年度収支決算報告の一部に誤りがあり、会員の方々に誤解を与える結果となりました。総会議題案の作成、印刷途中での確認不足が原因で、誤記が発生してしまいました。今後このようなことが無いよう努めてまいります。なお、訂正箇所と内容については、当会ホームページに掲示しています。
3号議案、4号議案については、多くの賛同によってご理解いただけたと考える一方で、正当な手続きの必要性、学会としての役割の認識が会員と共有するようにとのご意見をいただきました。3号議案、4号議案に対するご意見は、今後の参考にしていきます。その他のご意見については、本年度及び今後の課題として、より良い会運営を目指すため検討してまいります。
また、支出事業の支出では、研究大会の決算額（B）と残（▲超過）額に誤りがありました。5月17日に実施された監査では、監査委員から数字の誤記の指摘を受け、修正し監査を終了しました。しかし、第58回定期総会議案作成の途中のまま未修正の状態で編集、印刷され、会員の皆様に送付してしまいました。監査委員をはじめ会員の皆様にご迷惑をおかけし改めて運営委員一同お詫び申し上げます。

北海道考古学会第58回総会資料

議　事

1号議案　2020年度会務報告

(1) 事業報告

ア　第57回定期総会

書面議決　参加者：162名

イ　運営委員会

回	開催月日	議　題
第1回	4月11日	研究大会・総会など
第2回	5月23日	総会（書面議決）など
第3回	6月20日	総会（書面議決）の結果、だよりなど
第4回	9月26日	会誌・だよりなど
第5回	10月27日	遺跡報告会・研究大会・学会賞など
第6回	12月12日	運営委員の改選・会誌・だよりなど
第7回	2月20日	運営委員の改選・研究大会・総会準備など
第8回	3月27日	学会賞・研究大会・総会準備など

ウ　月例研究会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、開催中止。

エ　遺跡見学会

休　　止

オ　遺跡調査報告会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、開催中止。

カ　連絡紙『北海道考古学会だより』の発行

127号：2020年8月15日発行
128号：2020年10月31日発行
129号：2021年3月12日発行

キ　学会ホームページ

2021年３月まで（12ヶ月間）更新回数：７回

ク　会誌編集委員会の活動

会誌『北海道考古学』第57輯の発行（2021年３月発行　360部）

ケ　特別委員会の活動

特になし

(2) 2020年度収支決算報告

収　入

項　目	費　用	予算額(A)	決算額(B)	増　▲減	備　考
会　費	会　費	1,500,000	1,185,000	▲ 315,000	2021年度会費…5,000円×237件、3,500円×０件
事業収入	研究大会収入	200,000	0	▲ 200,000	※新型コロナ感染症のため開催延期 研究大会資料集販売 100部×2,000円
	遺跡見学会収入	0	0	0	事業休止のため予算なし
	遺跡調査報告会収入	100,000	0	▲ 100,000	※新型コロナ感染症のため開催中止 遺跡調査報告会資料集販売　100部×1,000円
	会誌等販売収入	73,000	163,750	90,750	会誌・資料集販売
	小　計	373,000	163,750	▲ 209,250	
雑　入		9,023	120	▲ 8,903	だより再送費
繰越金		1,087,977	1,087,977	0	
合　計		2,970,000	2,436,847	▲ 533,153	

支　出

項　目	費　用	予算額(A)	決算額(B)	残(▲超過)額	備　考
事業支出	研究大会費	500,000	114,550	385,450	※新型コロナ感染症のため開催延期 資料集印刷費等
	遺跡見学会費	0	0	0	事業休止のため予算なし
	研究会費	60,000	0	60,000	※新型コロナ感染症のため対面開催不可
	遺跡調査報告会費	455,000	0	455,000	※新型コロナ感染症のため開催中止 資料集印刷等なし
	会誌印刷費	700,000	646,360	53,640	第57輯　360部／振込み手数料
	だより印刷費	160,000	126,280	33,720	127号・128号・129号／振込み手数料
	ホームページ費	5,000	3,465	1,535	プロバイダー契約料、更新維持管理費／振込み手数料
	小　計	1,880,000	890,655	989,345	
事務支出	報償費（総会費）	50,000	50,000	0	学会奨励賞
	委員会費	100,000	0	100,000	運営委員会・編集委員会出席用交通費
	消耗品費	80,000	4,452	75,548	文房具代・コピー代等
	通信費	350,000	325,412	24,588	会誌・だより発送費・葉書切手代金等含む
	賃　金	100,000	8,000	92,000	会誌・だより等の発送・その他事務処理
	小　計	680,000	387,864	292,136	
基金積立金		60,000	60,000	0	
予備費		350,000	0	350,000	
合　計		2,970,000	1,338,519	1,631,481	

2020年度決算

項　目	費　用	予算額(A)	決算額(B)	差引額(B－A)	備　考
	収入総計	2,970,000	2,436,847	▲ 533,153	
	支出総計	2,970,000	1,338,519	▲ 1,631,481	
決算額差引	収入総計（B）－支出総計（B）			1,098,328	

2020年度北海道考古学会基金会計

項　　目	費　　用	支 出 額	基金積立額	基金総額	備　　考
基　　金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構氏寄付金		20,000	860,000	平成17年5月29日10,000円送金 平成18年3月22日10,000円入金
	宮下氏寄付金		10,000	870,000	平成20年3月31日10,000円入金
	臨時積立金		200,000	1,070,000	
	50周年記念研究大会積立金		250,000	1,320,000	2012年度積立
	保存対策費積立金		100,000	1,420,000	2012年度積立（過年度支出分補填）
	保存対策費積立金		100,000	1,520,000	2013年度積立（過年度支出分補填）
	60周年記念研究大会積立金		360,000	1,880,000	
合　　計				1,880,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財団 調査団事務所被災支援金	77,000		1,803,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	160,000		1,643,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	60,000		1,583,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		1,343,000	2003年度支出
	50周年記念研究大会費	250,000		1,093,000	2013年度支出
合　　計		787,000			

(3) 2020年度監査報告

監　査　報　告

北海道考古学会の2020年度会計の監査を実施した結果、適正に処理されていることを確認したので報告します。

令和　３年　５月　17日
監査委員　瀬川　拓郎　㊞

監査委員　角田　隆志　㊞

２号議案　2021年度会務計画

(1) 事業計画案

ア　基本方針

①北海道考古学の発展のため、会誌の充実、大会・月例研究会・遺跡報告会・遺跡見学会などの積極的な開催を図る。

②考古学研究を取り巻く環境が日々変化していく中で、諸課題に取り組むための「特別委員会」を設置するなど、研究環境の変化に機動的に対処しうる体制をとる。

③だより・ホームページなどを通じて会の活動や研究成果を情報提供する。

④会費納入の呼びかけと適正な予算執行により、財務基盤の安定化を図る。

イ　2021年度事業計画

①　研究大会

日　時：2021年８月後半から９月頃
様　式：インターネット（web）配信
テーマ：「北海道に残る二万三千の竪穴（くぼみ）」
内　容：講演２名､事例報告３名の動画配信による北海道の大規模竪穴群をテーマにした研究大会
※詳細は、だより、ホームページなどで示す。

②　遺跡見学会

休　止

③ **遺跡報告会**

休　止

（2021年度の発掘件数の統計などは各地域委員が実施し、それらの情報は運営委員会で保管、会誌で示すような活用を諮る）

④ **月例研究会**

時　期：運営委員会開催日の15時開始（※新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮して実施する）

⑤ **会誌「北海道考古学」第58輯の発行**

発　行：年１回

時　期：2022年３月　350部発行

⑥ **連絡誌「北海道考古学会だより」の発行**

発　行：年２回（第130号、第131号）

時　期：2021年７月、2022年３月

⑦ **ホームページの管理運営**

更新回数　７回程度（前年度同様）

(2) 2021年度予算案

収　入

項　目	費　目	2021年度予算額(A)	2020年度決算額(B)	増　▲減	備　考
会　費	会　費	1,320,000	1,185,000	135,000	(315人×一般・学生会員費)－過去3年分未納額分
事業収入	研究大会収入	200,000	0	200,000	研究大会資料集販売　100部×2,000円
	遺跡見学会収入	0	0	0	事業休止のため予算なし
	遺跡調査報告会収入	0	0	0	事業休止のため予算なし
	会誌等販売収入	75,000	163,750	▲ 88,750	会誌・資料集販売
	小　計	275,000	163,750	111,250	
雑　入		9,552	120	9,432	利息等
繰越金		1,098,328	1,087,977	10,351	
合　計		2,702,880	2,436,847	266,033	

支　出

項　目	費　用	2021年度予算額(A)	2020年度予算額(B)	増　▲減	備　考
事業支出	研究大会費	300,000	114,550	185,450	講師費用弁償等
	遺跡見学会費	0	0	0	事業休止のため予算なし
	研究会費	35,000	0	35,000	研究会共催費
	遺跡調査報告会費	0	0	0	事業休止のため予算なし
	会誌印刷費	650,000	646,360	3,640	第58輯　350部／振込み手数料
	だより印刷費	101,000	126,280	▲ 25,280	130号・131号／振込み手数料
	ホームページ費	4,000	3,465	535	プロバイダー料、維持管理費／振込み手数料
	小　計	1,090,000	890,655	199,345	
事務支出	報償費（総会費）	50,000	50,000	0	学会奨励賞
	委員会費	35,000	0	35,000	運営委員会・編集委員会出席用交通費
	消耗品費	5,000	4,452	548	文房具代・コピー代・賞状・筒
	通信費	300,000	325,412	▲ 25,412	会誌・だより発送費・葉書切手代金等含む
	賃　金	10,000	8,000	2,000	会誌・だより等の発送・その他事務処理
	小　計	400,000	387,864	12,136	
基金積立金		60,000	60,000	0	60周年用積立金
予備費		350,000	0	350,000	

2021年度北海道考古学会基金会計

項　　目	費　　用	支 出 額	基金積立額	基金総額	備　　考
基　　金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構氏寄付金		20,000	860,000	平成17年５月29日10,000円送金 平成18年３月22日10,000円入金
	宮下氏寄付金		10,000	870,000	平成20年3月31日10,000円入金
	会員寄付金		500,000	1,370,000	2021年度入金予定
	臨時積立金		200,000	1,570,000	
	50周年記念研究大会積立金		250,000	1,820,000	2012年度積立
	保存対策費積立金		100,000	1,920,000	2012年度積立（過年度支出分補填）
	保存対策費積立金		100,000	2,020,000	2013年度積立（過年度支出分補填）
	60周年記念研究大会積立金		360,000	2,380,000	2015年度積立開始（年60,000円）
合　　計				2,380,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財団 調査団事務所被災支援金	77,000		2,303,000	2003年度支出
	鷲の木5遺跡保存対策費	160,000		2,143,000	2003年度支出
	鷲の木5遺跡保存対策費	60,000		2,083,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		1,843,000	2003年度支出
	50周年記念研究大会費	250,000		1,593,000	2013年10月支出
合　　計		787,000			
基　　金　　残　　高				1,593,000	

３号議案　運営委員・地域委員・監査委員の改選について

運営委員候補

阿部明義（新任）、右代啓視（新任）、山戸大知（新任）、岩波　連（再任）、内田和典（再任）、大塚宜明（再任）、國木田大（再任）、直江康雄（再任）、柳瀬由佳（再任）

地域委員候補

中塚凪沙（新任：第３地域）、片山弘喜（再任：第４地域）、永谷幸人（新任：第５地域）、百々千鶴（新任：第６地域）、種石　悠（新任：第７地域）、大鳥居千鶴（再任：第８地域）、加藤朋夏（再任：第９地域）、木山克彦（新任：第10地域）

監査委員候補

酒井秀治（新任）、瀬川拓郎（再任）

なお、運営委員については、定員数16名以内に対して、９名である。そのことから、運営委員会で追加選出した場合は、HPやだよりなどで会員に周知することといたします。

４号議案　北海道考古学会特別賞（顕彰）の贈呈について

2020年度学会賞･奨励賞選考委員会では、候補者として北海道出版企画センターの推薦がありました。選考委員会で議論した結果、北海道出版企画センターに対しては特別賞を設けて、その貢献を称える方針が決まり、総会で諮ることとなりました。運営委員会では、この推薦を受け、この度、特例として北海道考古学会特別賞を北海道出版企画センターに贈呈したいことを提案いたします。 推薦の理由は、以下のとおりです。

北海道出版企画センターは、今年で創業50周年を迎え、この間、書籍出版などで北海道の歴史研究および北海道考古学の発展に多大なる貢献をしてきました。この功績に鑑み、北海道出版企画センターに対し北海道考古学会特別賞の表彰に値するものであります。

表彰に際しては、学会賞に準じ、特別賞とする計画であります。

報　告

(1) 北海道出版企画センター創立50周年記念事業の依頼

北海道出版企画センターの関連記念事業企画において、創立50周年記念事業の実行委員会への参画依頼（2020年７月26日付）があり、承諾した。

(2) 日本学術会議推薦会員任命拒否に関わる人文・社会科学系学協会共同声明への参加案内

日本考古学協会および考古学研究会から、日本学術会議推薦会員任命拒否に関わる人文・社会科学系学協会共同声明への参加案内（2021年３月23日付）が届き、賛同団体として参加することとなった。

就任のあいさつ

会長　右　代　啓　視（北海道博物館）

2021年度北海道考古学会第58回総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大、防止のため、書面上での議案議決をもとめることで開催されました。これに基づき７月24日に新旧の運営委員、地域委員、監査委員の交代、引き継ぎ、さらには直面する課題について、2021年度第４回の運営委員会で協議されました。私は、この委員会で臼杵勲会長の後任として選出され、会長を引き受けることになりました。

これまで、当学会の運営にあたっては、前会長をはじめ旧運営委員、地域委員、監査委員の方々にご苦労されたことと存じます。当学会の運営に尽力されたこと、心からお礼申し上げます。また、新たに委員になられた方、継続して委員を引き受けていただいた方には、ご負担が強いることとなるかと思いますが、ご尽力をくださいますようお願いします。しかしながら、当会は直面する課題が山積しており、短期間で解決できない課題もあります。また、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大に伴い当学会だけではなく、多くの研究団体も活動が停滞しているのも事実です。当会を発展的に運営するには、会員皆様のご協力、ご支援がなければ成り立ちません。本来であれば就任の抱負を述べるべきかと思いますが、持続可能な学会にするためには、会員の皆様に重ねてご協力とご支援をお願いする次第です。

最後になりますが、まもなく当学会は60周年を迎えます。当学会の節目として、社会的情勢をみると、当学会をとりまく役割は増えてくることが考えられます。７月27日には、「北海道･北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録に正式決定され、会員の皆様をはじめ、これにかかわる方々も多くなり、社会的にも北海道考古学への注目や関心が高まることと存じます。この世界遺産登録をお祝いするとともに、北海道考古学会の発展を無力ながら尽力したいと思います。当学会の各委員ともども、どうぞよろしくお願いいたします。

2020・2021年度 研究大会の開催案内

お知らせしておりましたとおり、研究大会「北海道に残る二万三千の竪穴（くぼみ）」につきましては、昨年度からの３回にわたる開催の延期により、インターネット（web）開催することとなりました。この間、発表者の方々・会員の皆様には、ご迷惑、ご心配をおかけしたことと存じます。2020・2021年度研究大会の開催につきましては、以下のとおりご案内いたします。初の試みとなりますので、行き届かぬ部分もあるかと思いますが、ご容赦ください。

2020・2021年度研究大会 インターネット（Web）開催
「北海道に残る二万三千の竪穴（くぼみ）」

配信期間：令和３年９月25日（土）～10月17日（日）
配信URL：https://youtube.com/playlist?list=PLLjX3_uowFF_B_NQ36B81kkbb4VucAtI5
配信内容：

1. 会長挨拶
2. 基調講演①　「北海道の大規模竪穴群と擦文文化」澤井　玄　氏
   （北海学園大学・北星学園大学・札幌保健医療大学・札幌学院大学）
3. 基調講演②　「オホーツク文化の集落」熊木　俊朗　氏　（東京大学）
4. 研究発表①　「根室海峡沿岸地域の大規模竪穴群」小野　哲也　氏（標津町教育委員会）
5. 研究発表②　「湧別の大規模竪穴群」林　勇介　氏（湧別町教育委員会）
6. 研究発表③　「道北部の大規模竪穴群」坂本　尚史　氏（（公財）北海道埋蔵文化財センター）
7. 総　　評　瀬川　拓郎　氏（札幌大学）

2020・2021年度研究大会資料集の販売について

研究大会「北海道に残る二万三千の竪穴（くぼみ）」の資料集について、以下のとおり販売を行います。配信動画の視聴の際にはぜひお手元にご用意ください。道東北の竪穴群の大部分を網羅した本書は、各発表の理解度が倍増するとともに、今後の大規模竪穴群の研究には必携の書となるでしょう。

＊「北海道に残る二万三千の竪穴（くぼみ）」資料集：
A4判69ページ（カラー図版多数収録）

＊価格：1 冊2,000円（送料事務局負担）

＊購入方法：

同封の振込用紙、あるいは下記の口座まで、「資料集購入代金」であることを明記の上、代金をお振り込みください（振込手数料はご負担ください）。

＊発送：

9 月16日（木）までに入金が確認できた方については、配信開始までに到着するように発送いたします。それ以後に入金された方については、一定数がまとまり次第、不定期の発送となります。

＊振込先口座番号：郵便局　02770-6-8358
加入者名　北海道考古学会

※学会の年会費もまとめて入金いただきますと、振込手数料が割安となりますので大変お勧めです。ぜひあわせてお振込みください。

＊問い合わせ：研究大会メールアドレス：hokkaidokoukogakukai@gmail.com

第７回北海道考古学会賞・北海道考古学会奨励賞の報告

第７回学会賞ならびに奨励賞について、2020年度に選考委員会が複数回開催されました。この賞の目的は、自薦他薦を問わず、今日まで当会を支えてこられた方々を表彰するとともに、これから当会を支えてくださる方を顕彰することにあります。選考委員会での協議の結果、学会賞は菊池徹夫氏、奨励賞は大塚宜明氏に決まりました。

決定理由の要旨は、次のとおりです。

学会賞　菊池徹夫氏

【受賞決定の理由】

菊池徹夫氏は 1960年に「恵山式文化の問題点」(『金鈴』12号）を発表されて以降、続縄文文化･擦文文化･オホーツク文化・アイヌ文化・蝦夷論等、北方考古学にかかわる論考を次々と発表された。また、東京大学文学部として初の東京以外の研究施設となる旧常呂町（現北見市）の東京大学北海文化研究施設に助手として着任され、72年まで同町を拠点に精力的な調査を行われ、北海道考古学の古典的名著『常呂』（共編著）を始めとし、数々の研究成果を上げた。85年は「北方考古学の研究」により早稲田大学で文学博士号を取得され1986年に教授に就任、以後も北海道を中心とした北方考古学の研究に邁進された。このように北海道考古学に多大なる貢献をもたらした研究者の一人である。

併せて、北海道考古学会の第10地区における会員として、北海道考古学会の活動に貢献するとともに、早稲田大学で北海道考古学に関する教育を展開してきたことは、直接的および間接的に北海道考古学の発展に大変に寄与したと評価された。

奨励賞　大塚宜明氏

【受賞決定の理由】

大塚宜明氏は、札幌学院大学で考古学及び博物館学の教鞭を取る傍ら、黒曜石を通した人類行動の研究を精力的に進めている。主たる業績である旧石器時代の研究では、常呂川流域を対象に精力的なフィールドワークを実施し、置戸山の原産地遺跡の発掘調査、常呂川流域や他地域の既存資料の再調査によって着実に成果を積み重ねている。特に明治大学黒耀石研究センターとの連携による原産地推定分析と、詳細な石器製作技術の解析により、北海道後期旧石器終末期石器群の集団が持つ原料獲得消費方式と地域社会形成の様相を明らかにした研究は優れたものである。近年では原産地分析の成果を、北海道と周辺地域（千島・サハリン・アムール川流域・東北地方）の広い範囲を対象に、旧石器時代からアイヌ文

化期まで通時的にデータベース化した業績は大きく、基礎研究に対する真摯な取り組みは高く評価される。2014年には日本考古学協会の査読機関誌『日本考古学』にも論文が受理・掲載され、2017年には北海道大学出版会にて著書が出版されている。

併せて、札幌学院大学における、考古学関係科目の担当教員として、実地の発掘調査による研究手法を通し、次世代の育成を図っている点が評価された。

【お礼とご挨拶】

北海道考古学会の皆さまへ

北海道考古学会の皆さま、このたびは私に名誉ある北海道考古学会賞をお与えくださり、まことにありがとう存じます。身に余る光栄とはまさにこのこと、大いに恐縮し、感謝しております。

最初お話を頂いた際は、まったく思いもかけぬこととて、戸惑うばかりでございました。

ただ長く会員で居るばかりで、自分ながら、学会には全く貢献などしていないと思われたからです。しかも最近は不勉強で、とりわけ10年ほど前に現役を退いてからは福島県に伺うことが多いこともあって、以前のように故郷北海道を訪れる機会も少なくなりました。そのうえ昨年来のコロナ禍の自粛生活。コロナ前の時代さえ最早遥か遠くの気さえ致します。

それでも、「北海道考古学」などで、新しい調査や皆さまの研究成果などを拝見し、北の考古学の進展ぶりに驚きつつ、何とか私なりに勉強させて頂いております。

このたび躊躇したもう一つの理由は、当然、私以外に、この栄誉にもっと相応しい方が居られるように思われたからです。ここであえてお名前は挙げませんが、昔お世話になった諸先生、先輩や仲間たち、あるいはこれまで大きな業績を上げてこられ、なお第一線で活躍されている方々、何人ものお顔が今も目に浮かびます。

その中でただお一人、故石附喜三男さんのお名前だけ、ここでとくに挙げさせて頂きたいのです。あの頃、擦文・オホーツクとアイヌ文化の関係について、懸命に、しかも酒を酌み交わしつつこの上なく楽しく、共に追いかけた同い年の戦友として。

最近、若い方々のご努力で明らかにされつつある事例、例えば厚真町周辺の遺跡での目覚ましい成果などを拝見するにつけ、北海道考古学の核心とも言えるこうした問題について、彼ともっともっと語り合いたかった、と切実に思っています。

今回の栄誉は、そのようなわけで、個人的には秘かに、氏とともに頂戴するような気持ちでおりますことを、どうかお許しください。

いずれにせよ、この度の格別のご配慮に感謝し、北海道考古学会のますますのご発展をお祈り申し上げて、関係の皆さまへの心からのお礼とさせて頂きます。

ありがとうございます。

2021年５月15日
菊　池　徹　夫

【受賞のお礼】

このたびは北海道考古学会奨励賞を授与いただき、誠にありがとうございました。

受賞の対象となりました一連の研究は、「細石刃製作技術」、「黒耀石」、「置戸黒耀石原産地」の三つのテーマで取り組んで参りました。これらの研究テーマのうち、前二者は私を考古学の道へと導いてくださった安蒜政雄先生、後者は私が北海道で研究・教育に携わる機会をつくってくださった鶴丸俊明先生に与えていただいたものです。研究の指針を授けてくださいました両先生には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

また、旧石器一辺倒だった私に、周辺大陸を含めた広い視野で物事を考える重要性を教えてくださった臼杵　勲先生、アイヌ文化に至る通時的な視点をくださった児島恭子先生・奥田統己先生をはじめ、道内の研究者の方々や置戸町民の皆様に私の研究を育てていただきました。

上記の通り、多くの先生方に与えていただいてばかりの私ではありますが、少しでも北海道の考古学に恩返しできるよう、より一層教育・研究活動や地域連携活動に取り組んで参りたいと思います。

2021年５月15日
大　塚　宜　明

事　務　連　絡

会誌「北海道考古学」第58輯の投稿について

『北海道考古学』第58輯（2022年３月刊行）は特集を組まず、一般号を予定しています。会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。

原稿の締め切り日は下記のとおりですが、投稿を希望する方は、編集の都合上、10月８日（金）までに会誌編集委員会事務局まで電子メールによる連絡をお願いいたします。

学会ホームページまたは『北海道考古学』第55輯（2019年３月発行）に掲載されている原稿の分量・体裁等を厳守の上、ご投稿ください。

投稿希望連絡先　hokkaido.kokogaku@gmail.com
エントリー締め切り日　2021年10月８日（金）
原稿締め切り日　2021年11月22日（月）（必着）
原稿送付先　投稿希望をいただいた方には個別に会誌編集委員よりご連絡いたします。

会費納入についてのお願い（重要）

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去３年以上の会費を納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたしますのでご了承をお願いします。

郵便局口座番号：02770-6-8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000 円　（学生）3,500 円

【会費未納会員への対応】

会費の未納会員は、速やかに学会事務局までご連絡いただき、会費を納入してください。なお、長期未納の場合は、運営委員会から直接ご連絡を差し上げる場合がありますのでご了解ください

北海道考古学会だより　第130号　2021年８月31日　発行
発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/index.html）
事務局：〒069-8555　江別市文京台11番地札幌学院大学
人文学部人間科学科　臼杵研究室気付　北海道考古学会事務局
E-mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
印　刷　北海道図書企画　(011)668-1131